



伊木 真由子

地域包括ケアシステム

問 国勢調査では高齢者夫婦世帯・高齢者単身世帯が年々増加傾向にある。今後の推移は。

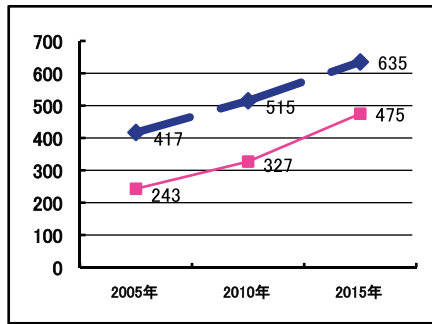
答 今後とも増加すると思われる。

問 高齢者が50%を超える地区は、44地区のうちどの位あるか。
答 現在3地区あり、40〜50%の地区が17地区ある。

高齢者世帯の推移 (世帯)

	2005年	2010年	2015年
夫婦のみ世帯	417	515	635
単身世帯	243	327	475
高齢者世帯数(a)	660	842	1110
全世帯(b)	3818	3853	3717
a/b	17.3%	21.9%	29.9%

* 国勢調査より
夫婦のみ世帯・・・妻60歳以上・夫65歳以上



高齢者世帯の推移 (世帯)

一、地域包括ケアシステム
二、能勢の環境

能勢の環境

問 本町は、2017年に環境省の「重要里地里山500」の実証地域に選ばれ、2016年に公表された都市部で生物多様性が保たれている自治体ランキングでトップに選ばれている。生態系の豊かさで1位になっているのだから、生物多様性の保全に取り組めば素晴らしい町になるのではないか。

答 いろいろな面で考えていかないといけない。

意見 高齢化や人口減少により地区での取り組みが困難になってきている。いろいろな形でのコミュニティが必要ではないか。

問 新しい里山の活用を考えるとどうか。

答 経済を含めた循環が大事。バイオマスなど検討を進めている。

意見 高齢化や人口減少により地区での取り組みが困難になってきている。いろいろな形でのコミュニティが必要ではないか。

一般質問



西河 巧

町の活性化

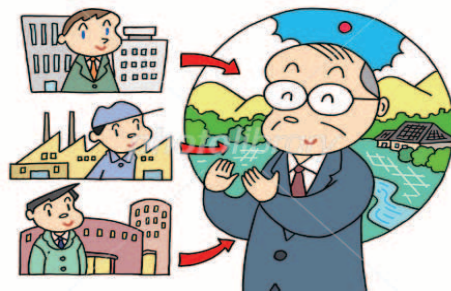
問 商工業の振興や、新たに起業する人に対して支援が必要だと思うが、町としての考え方を問う。

答 地域経済の好循環を図る上で商工業の振興は重要なものと認識しており、本町では商工会、地域金融機関が、連携し創業支援を行うネットワーク体制を構築している。

問 企業誘致に向けた取り組みについて問う。

答 新名神高速道路開通に伴う交通インフラの充実を見据え、企業誘致による地元雇用の確保、定住促進に向け、市街化調整区域においても、時代に合った土地利用計画を進めるため大阪府をはじめ、関係機関との協議、調整を進めている。

一、町の活性化
二、獣害対策



11月末の時点において、シカ、イノシシ合わせて313頭の捕獲が行われた。また、緩衝帯整備事業については、宿野地区2カ所及び野間出野地内において、合わせて5300㎡の整備を実施した。

獣害対策

問 シカやイノシシなどによる被害が拡大していると考え、本町の取り組みについて問う。

答 今年度より、鳥獣被害対策防止緊急捕獲活動支援事業に取り組んでい



pixta.jp - 5762698